

幼保小だより



幼小連携・接続推進コーディネーター 小瀬知里(扇山小学校)

前年度より、富良野市の「幼小連携・接続推進事業」を担当しております。扇山小学校の小瀬知里です。よろしくお願いします。

本事業では、「子どもの学びと育ちをつないでいくこと」を合言葉に、富良野市の幼小連携で目指す子ども像を次のように設定しました。

【富良野市の目指す子ども像】

安心の中で、自己を発揮しながら、主体的に学びに向かう富良野の子ども

そのために、富良野市では次の2点に重点をおいて取り組んでいます。

①幼児期から小学校入学への希望をもち、安心して学校生活を過ごせる体制を構築。

幼保・小の交流と引継ぎシステムの拡充。

②幼稚園、保育所での経験を小学校生活でも活かすことで、自立と成長を促し、自己肯定感を高める。

幼児教育の意見を踏まえたスタートカリキュラムの作成。

前年同様、今後、富良野市として「幼小接続推進協議会」を設け取組を行う予定ですが、今年は新型コロナウイルス感染症の関係からできることに制限がありそうです。現状、今できることを少しずつ取り組み、来年度に託していきたいと考えています。

さて、4月より小瀬が扇山小、連携校2校(富良野小・東小)を訪問しています。こちらの通信で各学校の実践紹介をしていきますので、小学校だけではなく、幼稚園・保育所でも今後の参考にさせていただければと思います。

この通信を話題に、職員間の交流、幼児教育職員と小学校教員の交流の輪が広がるとうれしく思います。定期的に発行させていただきますので、職場内でご回覧くださいますよう、よろしくお願いします。

小学校新学習指導要領では…

「教育課程のつながり」を促すために、幼稚園教育要領の文言が一新されました。理由は、小学校教諭にみってもらうためです。文科省の方々は、「どのような文言なら小学校に伝わるか」と何年もかけて再編成をしました。ぜひ、この期間にご一読ください。

